

復興漫話

復興局横濱出張所長 高田景

瑞雲健々御大禮の歳昭和第三年の新光を迎へて清爽の氣自ら溢るゝの氣持がする。吾々は此聖代の第一歩に於て更に益々勇を鼓して復興の進捗を謀らねばならぬと覺悟をして居る。舊臘淺香編輯子より突然の御依頼で何の腹案がなく唯過去の思出を少々書いて見る氣になつた。

客年十一月三日復興局横濱出張所に轉勤になつてから既早一年餘の月日が過ぎた、在職九ヶ年の神奈川縣も随分永

いものであつたが、いざ去るゝなるゝに名残り惜しかつた、然し横濱市の復興事業に従事する事は矢張り同じく神奈川縣管内の事業である。精神に於ても實際に於ても、變りはない。之れは筆者が其の當時屢々繰返した言葉であつた。

神奈川縣の復舊復興工事、今思ひ出しても棘然とする、一面の燒野原、見る影もなく破壊されたる道路河川、其の當

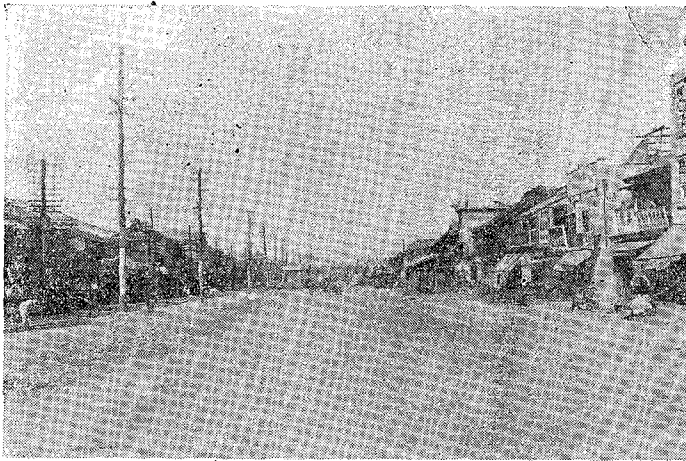
時の状況を知てる者は五年後の今日斯く迄復興しようとは想像出来なかつた事と考へる、縣廳の復興は實に裸一貫紙一枚鉛筆一本からの復興であつて、深夜部下を大阪に馳せさせ取敢へず柳行李に一杯筆紙の類を購はした事を思ふと轉た感慨に堪えない、今思ひ出すに其當時元土木局の古老小原和歌山縣土木課長が『神奈川縣の復舊工事を君が七年で終る事が出来れば此の小原の首はやつてもよい』筆者は首の話にはよく縁のある方だが此の元老經驗家の話を聞いて一時は非常に心痛したのであつたが、其後内務當局の甚大なる援助鞭撻と各員の奮闘努力で先づ先づ大過もなく繼續年期を一年早め約三ヶ年で復舊工事の方は片附ける事が出来た、依て小原老の首を頂いても今更仕方がないから願下げにする、今は縣検査官當時から厄介になつた三輪一世土木部長が赴任されて人員整理や殘工事の尻結び所謂障を纏める難事業に出られ、又傍ら多年縣の懸案である水電水道の計畫實現に腐心されてゐる、寛谷實實思慮綿密池田明府を助けて縣民に其の信望頗る厚い、縣も誠によい土木

部長を得たものである、只同君は筆者と違ひ天稟の麗貌温雅の容姿私に女難の陥穿を憂へて居る。但し之れは筆者の老婆心で深慮ある同君は必ず名實共に初代土木部長の光輝ある實蹟を擧げらるゝ、ここは疑はないのである、縣を去て一年其の間に畏れ多くも世は諒闇となつた、年代は變る、内閣は更迭した、多數知事の首はスツミんだ、銀行は潰れる、路政僧は筆禍で叱られる、世は中々の多事であつた、幸ひ筆者の従事して居る市の復興事業は堀切長官の白熱的激勵と市民の誠意ある協力で頗る順調に進捗した。約五十萬坪の區劃整理も昨年三月面積の決定を終り五月移轉命令發令濟十二月末には夫々換地處分精算を終了、實際の移轉は目下の處全棟數の八割七分を超えて居るので本年三月末迄には是非全部を完了する豫定である、工事の方は約七割完了橋梁も三十四橋中残り二橋丈殘工事も本年六七月頃には竣功從て豫定の昭和三年度中に全部完了する事に最早確信がついた。只横濱驛移轉工事之れに伴ふ鐵道線路の移設が鐵道省の都合で後れたので、之れと關聯する一號國道一部

の擴張工事が如何にしても年度内に出来ない、依て之れは  
る譯である。

已に天下に聲明して四年度に其の  
部分の豫算を繰越す事になつた、  
何れ市の方に引繼ぐ事にならうこ  
思ふ。

横濱市の受持つてゐる復興事業  
も何と云つても、有吉名市長の敏  
腕で、藤宮土木のきかぬ氣の張り  
合せて、中々巨く進む、國施行の分  
ミ常に雁行の形、競争したなら  
ば恰度技倆伯仲の「ボートレース」  
見た様で抜いたり抜かれたり實以  
て煩さい、然し此の競争的努力も  
事業進捗にミつては頗る結構な事  
で横濱復興が一步進むだ事も全く  
之れが其の一因とすれば、茲に更  
めて藤宮君に敬意を表す次第で返す返すも好敵手健在を祈



神奈川一號國道線擴築工事

元來横濱復興費の當初の豫算は三  
千五百五十餘萬圓だったが移轉補償  
の増加で到底是丈では實行出來な  
い、そこで堀切長官は就任後直に帝  
都復興費横濱復興費の實行豫算確立  
に努められ、東京の不足六千八百萬  
圓の内千二百萬圓は昨年議会で決  
議され残り五千二百萬圓を本年に政  
府の了解を得られた、横濱の不足七  
百萬圓國施行分四百萬圓市施行分三  
百萬圓は昨年已に決議済となつて横  
濱復興實行豫算は三千九百五十一萬  
四千四百圓と確定した、さて實行豫  
算は確立したが四百萬圓丈の追加で  
は中々豫定通りの仕事が出来ない。

種々苦心の結果一二路線の實施を市に引渡し橋梁其他の實

施設計を出來る丈簡略にし苦面に苦面を重ねて漸くやり繰りした、其の内筆者の大に快心さ

て貰ひたい。目下の工事で縣から『アスファルトプラント』

覺ゆる事は元來復興局施行の一號

を借受けて永々縣の舗裝工事に經驗ある技手を採用尙工夫夫人に至る迄

國道幹線に一文の舗裝費のない事

全部其當時のものを使得矢張直營で

で東京府神奈川縣共既に舗裝され

今の處約五千坪の施工を終つた事は

肝心の横濱市内に入つて泥田の様で

甚些細であるが「よくやつて呉れた」

は何の爲めの仕事か譯が分らない

その後から云つて呉れる人がきつこあるだらうと、筆者は大に自惚れて居

い、筆者は大に奮起した積りで長

る。社會施設の下らぬものより道路

官をお願いして漸く幅員の半分丈舗

を良くしてやる方が、され丈社會の

裝する事の御同意を得た、之れで

爲になるか判りきつた事だ、元來何

やつこ中央三間の電車軌道の舗裝

億さ云ふ巨費を擁し乍ら一號國道幹

を合せて七間になるので恰度縣の

線の舗裝費を割り離して今日迄平氣

補裝幅員を略々同様になる孰れ残

で居たさ云ふは何事だ、いや／＼餘

りの半分は最後に至つて殘金でも出

り調子に乗つて氣焔を擧げるさ又々路

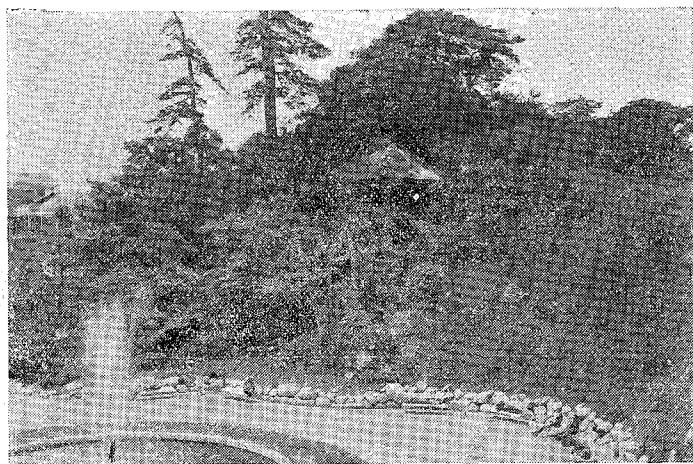
來れば考へたいと思つて居る、半

政僧の二の舞になるから桑原／＼

分丈の舗裝なんて『ケチ』なさ云

ふ説もあるが半分丈でも斷乎さしてやつた筆者の苦衷を買

横濱復興事業の中で一寸毛色の變つた仕事は公園の造設であ



野毛山公園

つた復興局で野毛山、山下、神奈川の三公園を新設、市の方

市費を以てやる可きが至當だ』一寸代議士風を吹かした

では舊横濱公園を改造する事、掃

門山公園を改造擴張する事で野毛

山の半分を掃門山公園は已に竣成

他の分も本年八九月頃には大體出

來る事と思ふ、公園の計畫は本局

公園課でやり施工は出張所が承て

居る、野毛山公園は元花木邸の庭

園を元市長公舎の敷地を取入れ尙

水道淨水池地域の全部を合して約

貳萬五千坪林泉の配置其他素人目

乍ら良く出來てる様に思ふ。嘗て

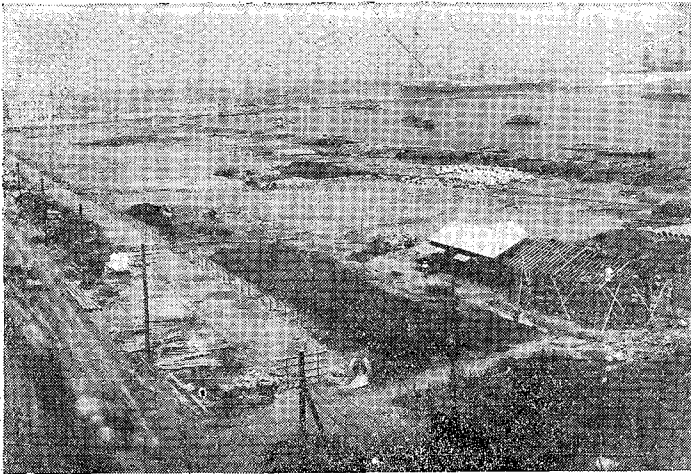
口の悪い代議士連二三名を案内し

た時もさすが褒めて居た、然し最

後に言ふ事が面黒い。如斯施設は

實に結構だが國費を以て公園を作

る事は考へ物だ今度土地を買收して市に渡し設備は一切



### 山下公園

處が面白い、筆者は徐ろに『一應は御尤もだ、然し之れは震火災の實際を知らぬ者の云ふ事で公園の爲めに幾萬の人命を救ひ得た事實を思へば公園費に投ずる經費の如きは復興事業費中最も花あり實ある遣り方で如何に四十萬の市民の心に清涼の氣を與へ國家の施設に感銘して居るかを考へて貰ひたい』と答へたが別に異議はなかつた様であつた。

山下公園神奈川公園は云はゞ廢物

利用をいつた譯で、御承知の如く山

下公園は震火災當時の土石練瓦を棄

て出した處、無斷で港内面積を狭め

た廉で内務省の御機嫌頗る斜で結局

當分の間公園云ふ事で解決のついた處、面積は約二萬二

千坪神奈川公園は區有水面を道路工事の序に埋た處、面積は約八千坪孰れも平坦地で東京の公園と變りはない。

手前味噌は此の位で御免蒙る事として、例へば例の自動車道路所謂産業道路補助も今度こそは愈々物になるらしい誠に邦家の爲め嬉ばしい事を各府縣の路政上重大なる期待と覺悟を與へるもので、此れを活用する事に就ては内務當局に於ても慎重に考慮研究して貰ひたい。

茲に一陽來復潑刺たる御大典の新春を迎へた吾々は益々

緊張して奮勵せなければならぬと思つて居る、路政誌上にも久しく御無沙汰をしたが今年からは廻らぬ舌に動かぬ筆もかまわず時々惡まれ口でも叩いて見ようと思つて居る、そして共に共に我路政の爲めに幾分の貢獻でも出来れば結構な事である。何の腹案もなく唯だ出まかせを書き連ねた丈で新年號の記事としては甚だ恥しい次第だが藪から棒に頼まれた責ふせぎ迄で讀者諸君の御迷惑は何卒御許しを願ひたい。

## 四國と紀州の交通について

東京府立  
第六高等女學校長

丸山丈作

私は昭和二年十月に、昔の南海道を、ザット一めぐりした。この地方の交通は、わかりかねる所が少くない、それで、近くこの地方へ行かれる人のためにもと、少くかいてみる。

東京から讃岐の高松へは、岡山、宇野を通れば東京を晩の七時半に立つて、翌日の午後二時二十分につかれる。高松